

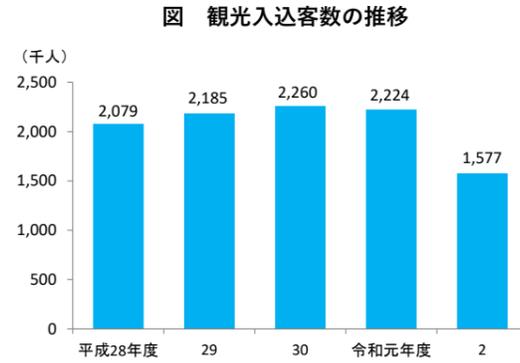
現状と課題

【現状】

令和2年度の観光入込客数は、コロナ禍で前年度より約65万人減少し、観光産業は大きな痛手を受けています。

【課題】

- 1 磨き上げた特色ある観光資源を情報発信することにより、多くの観光客を呼び込む必要があります
- 2 「リピーター」と「新たな丹波市ファン」づくりのため、観光地を取り巻く環境を整備していく必要があります
- 3 観光資源を活用して商品やサービスの付加価値を高める観光戦略をつくる必要があります



観光振興の基本方向と実施施策

基本方向1 観光資源の魅力を高める

(1) 丹波三宝や丹波竜など既存資源のさらなる研磨 (●:実施施策)

- 丹波三宝の生産拡大・販路拡大に対する支援の充実
- 丹波竜や丹波三宝以外の観光資源の研磨・活用の推進
- 観光資源としての氷上回廊の研磨・活用

(2) 新たな観光資源の発掘・開発と高付加価値化

- 新たな観光ブランド品の発掘・開発
- 体験型観光の推進・支援

基本方向2 観光を安心して楽しめる環境を整備する

(1) 観光情報の効果的な発信

- ICT、SNSを活用した観光PRの推進
- 多言語での情報発信
- 市内イベント参加者への情報発信
- “丹波市ファン”の増加に向けての取組

(2) 観光インフラの整備

- 楽しめる環境整備の推進
- 情報発信の充実

(3) おもてなしの向上

- 観光コンシェルジュ機能の充実

基本方向3 丹波市の観光を基幹産業化する

(1) 戦略的な観光振興策の展開

- 観光戦略の推進
- 隣接地域や広域連携の推進

(2) 魅力ある宿泊施設の拡充

- 農家民宿や古民家を利用した民泊の拡充

(3) 丹波市の特産物を活かした食事と土産物が楽しめる環境づくり

- 農商工連携による丹波市の食づくりの推進

商工業振興計画

基本理念

「“住み続ける”を実現する商工業の発展」

5年後(令和9年度)の目指す姿

- 1 地域の小規模商店は元気に営業し、日々便利で楽しい買い物
- 2 中心部の大規模商業施設では専門化や品揃えが充実し、様々なお客様で賑わう
- 3 ワーク・ライフ・バランス、男女雇用機会均等法などに対応した、働きやすい環境の構築
- 4 新たな生活様式に対応したリモートワーク、ワーケーションなど、新たな働き方と生活を選択
- 5 起業や新規企業立地が増え、市内での雇用も増加
- 6 様々な支援と企業努力により市内産業は成長し、経済的レベルは県平均へ

現状と課題

【現状】

1 商業の状況

商品販売額では、卸売業は増加、小売業は減少傾向でしたが、平成28年では640億円と増加しています。

2 工業の状況

製造品出荷額は微増傾向、令和元年では2,470億円/年となっています。

図 年間商品販売額(卸売、小売)

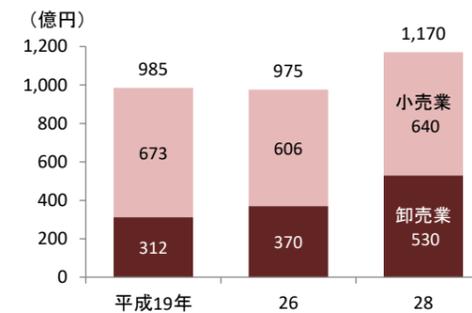
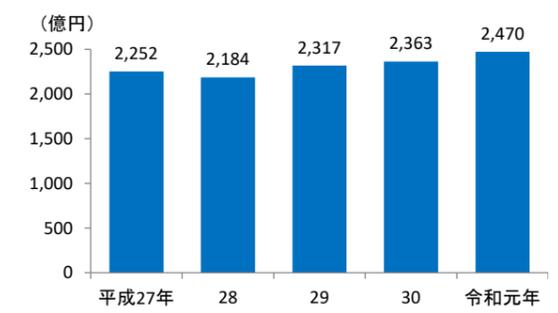


図 製造品出荷額の推移



【課題】

- 1 高齢者の暮らしを支える小規模商店を元気にしていく必要があります
- 2 商業を牽引する集客力の高い大規模商業施設を活用する必要があります
- 3 起業支援や新たな中小企業の企業誘致を進めていく必要があります
- 4 事業拡大のための財源調達や情報発信への支援、若い優秀な人材確保への支援、企業間連携の促進支援により、既存企業の発展を応援する必要があります
- 5 女性を積極的に登用する取組や障がい者や高齢者の積極的採用、ワーク・ライフ・バランスの推進、女性の職場活躍や男女共の子育てなどに対する意識変革の促進等、働き方を変えていく必要があります

商工業振興の基本方向と実施施策

基本方向1 小規模な商店を元気にしていく

- (1) 魅力ある個店づくりの推進 (●:実施施策)
 - 魅力ある店舗情報の発信
 - 伴走型支援の強化
- (2) コミュニティに果たす役割に着目した支援の充実
 - 空き家、空き店舗の活用
 - 商業振興のための地域通貨の充実とDXへの対応
- (3) 中心市街地活性化の手法による丹波市商業の発展
 - 集客・交流機能の強化

基本方向2 大規模商業施設の発展により丹波市商業を牽引していく

- (1) 多様で専門性の高い商品・サービスの提供
 - 集客を高め消費力の向上
 - 集客イベント開催等の支援
- (2) 大規模商業施設が果たす公共的役割に対する支援の充実
 - コミュニティ施設運営支援
 - 公共的サービスへの活用

基本方向3 スモールビジネスの起業や中小企業の誘致を広げる

- (1) 起業の推進
 - 起業相談体制の強化
 - 女性起業家の育成
- (2) 企業誘致に係る情報の収集と発信
 - 関係機関と連携した企業誘致活動
- (3) 企業誘致に向けた環境整備
 - 進出企業への各種優遇制度の充実
 - 新技術を活用する企業の誘致

基本方向4 既存企業が安心して事業活動を展開できる環境をつくる

- (1) 財源や情報発信に対する支援
 - 地元企業の市内外PR
 - 企業ニーズの把握
 - 経営安定、事業拡大等に向けた支援制度の充実
- (2) 人材の確保支援
 - 大学等と連携した人材確保
 - 就職支援ポータルサイトの開設
- (3) 企業間連携の推進
 - 企業マッチングの推進

基本方向5 働き方改革を推進する

- (1) 企業に対する働き方改革の支援
 - 各種支援制度の充実
- (2) 労働者に対する働き方改革の支援
 - ワーク・ライフ・バランスの推進
 - 女性活躍推進や両立支援策の充実
 - 子育て世代への支援策の充実
 - コワーキングスペース開設への支援

※実施施策は本編からの抜粋です

丹波市観光・商工業振興ユニティプラン【概要版】

『ユニティプラン』とは？

「ユニティ」とは、「統一」「一致（団結）」「協同」などの意味で、観光・商工業振興ユニティプランとは、「観光と商工業が様々な連携を図りながら、それぞれの魅力を高め、新たな付加価値を創造していく振興計画」を意味しています。

計画改定の目的

前回計画の基本理念と基本方向を継承し、SDGsの取組や新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式、DX（デジタルトランスフォーメーション）化など観光・商工業を取り巻く環境の変化を踏まえて、前回計画の実施施策を改定します。

計画期間

令和5年度～令和9年度（5年間）

観光振興計画

基本理念

「観光がまちを変える、人を変える、未来を変える」

5年後（令和9年度）の目指す姿

- 1 丹波市らしい魅力ある観光地や特産品を使ったレストランなどが増加
- 2 観光インフラの整備が進み、市内観光地を巡る周遊観光が増加
- 3 ICTを活用した観光情報の発信が充実し、市外や海外からの観光客が増加
- 4 年間観光入込客数が増え、市内の観光消費額が増加
- 5 観光産業は丹波市の基幹産業として成長



丹波市観光・商工業振興ユニティプラン【概要版】 令和5年3月

発行・編集 丹波市産業経済部観光課、商工振興課
〒669-4192 兵庫県丹波市春日町黒井811番地
観光課 TEL 0795(88)5115(直通) FAX 0795(74)3005
商工振興課 TEL 0795(74)1464(直通)



※ユニティプラン本編はこちらから↑